

## 地域に寄り添い 笑顔と健康を届ける

兵庫ヤクルト販売 代表取締役社長

阿部 恭大 さん

PROFILE: あべ・やすひろ

1990年11月23日生まれ。2018年慶應義塾大学大学院経営管理研究科を修了。その後、取締役を経て2023年から3代目代表取締役社長に。趣味はカレー店巡り。



明石市を含む担当エリア約160万人市場に、話題の「Yakult1000」をはじめとするヤクルト商品を提供している「兵庫ヤクルト販売」。1954年の創業以来「兵庫一の感動とおもてなしをサービスできる会社」を目指し、地域に根差したさまざまな事業を展開しています。

「担当させていただいている160万人の心身と社会の健康づくりにこだわっています」と話すのは、3代目代表取締役社長の阿部恭大さん。新卒から3年間ヤクルト本社に勤務し、新規顧客へのアプローチや販売促進企画の立案などを行いました。その後、経営学を学ぶために大学院へ。「現在第一線で活躍しているハングリー精神のある方々と共に学んだ経験が今に生きています」と話します。

コロナ禍では、宅配事業における苦悩も多かったそう。「ヤクルトレディがお客様と対面でコミュニケーションを取りつらくなったのは危機的な場面でした。その中で、直筆の手紙を添えるなど、できる限りぬくもりが伝わるように工夫しました。また、社内SNSを導入し、社員同士が信頼関係と相互理解を深められるようにしました」。

### 地域と社員の健康を第一に

同社は現在、新規事業として「コミュニティナース」を推進しています。地域の健康を支えるため、医療の知識のある看護師を採用。「看護師がヤクルトレディと連携することによ

っています」。宅配事業のほかに、親子で楽しめる「ファミリーコンサート」を地域で行ったり、行政や企業向けに健康をテーマにしたセミナーを行ったりしています。いずれも好評で、現場での反響は社内のコミュニティにも広がるようにしていると言います。

また、経済産業省の定める「健康経営優良法人 大規模法人部門」に、2020年から5年連続で認定。ヤクルトレディの声や社員の意見を経営やマネジメントにも取り入れていると阿部さんは話します。「今後もお客様に、笑顔と健康をお届けすると共に、社員の働きやすい職場環境づくりにも努めていきたいですね」。

地域の健康を支えている「兵庫ヤクルト販売」と若き社長の今後に注目を！